

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	一般小売店〔生花〕（経営者）	・2～3か月先は、卒業や退職、異動等があり、また、母の日と続くため、花屋では売上が見込める時期になり、若干控えるようなことがあっても、売上は良くなる。
	◎	競馬場（職員）	・緊急事態宣言の解除を期待している。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・緊急事態宣言が解除されても、好材料がないため、先行き不透明であるが、少しでもイベント等の動きが出ることに期待したい。
	○	百貨店（企画担当）	・緊急事態宣言の解除や気温の上昇、ワクチン接種等新型コロナウイルス対策としての明るいニュースが続けば、消費行動が少しずつ戻ってくると期待している。
	○	百貨店（売場担当）	・今年は、2月のイベントがないため、売上が減少する可能性がある。4月は、前年の4月に緊急事態宣言が全国に発出されていたため、上昇すると予想される。全体的な流れは、一部の店舗で食品の売上が80～100%になり、食品けん引型で動いている。一方、衣料品は、寒くなっているにもかかわらず、一般的に売上がない状況である。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種により、感染者数が減少し、加えて、政府の経済対策で、一気に景気が回復することを期待している。
	○	コンビニ（エリア担当・店長）	・春になるにつれて、客足も伸びてくると予想される。当店では、新型コロナウイルスの影響は余りないようであるが、飲食店が閉まっていることもあり、今後の客の動向が予測できない状況である。
	○	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス特需の影響で、テレワーク関連商品の需要が非常に高くなり、緊急事態宣言後は、更に伸びている。加えて、企業の働き方も変化しており、まだまだ特需が継続すると考えられる。
	○	家電量販店（店員）	・家電量販店の売上は、悪くない。白物家電では、ロボットクリーナーやコードレスクリーナー、ドラム式洗濯機、また、パソコンではタブレット端末等の売上が伸びている。今後もこの傾向が続くと期待している。
	○	家電量販店（総務担当）	・前年と同様に引っ越しマーケットは望めないが、現状の特需は当分継続すると予想される。
	○	家電量販店（従業員）	・新生活スタートに向けて購入するため、若干良くなる。
	○	家電量販店（広報・IR担当）	・新型コロナウイルスの影響で市場動向が不透明ではあるが、家電製品は生活必需品であるため、大きな落ち込みは想定していない。
	○	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスの状況は、この先3か月で大きく回復できるとは考えられないが、この状況が続くと想定し、これを機に今までの方針や考え方を転換し、改善をしていかなければいけない。
	○	観光型ホテル（総務）	・県内の新型コロナウイルス感染状況は着実に改善しており、進学や就職、春の移動シーズンに向けて外食や小規模宴席の動きが出てくると予想する。仮予約ではあるが、運営するレストランや宴会場の予約状況も上向き傾向である。
	○	観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルス禍が収まれば、Go Toキャンペーンの再開を期待している。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・客の外食や旅行意欲は高まっており、緊急事態宣言の解除次第で、好転すると考えている。
	○	旅行代理店（職員）	・国内旅行の春の新規予約は、増加傾向である。一方、海外旅行は期待できない。
○	美容室（経営者）	・春になるとおしゃれ産業に携わっている業界は、忙しくなっていく。暖かくなると服装に変化が現れ、動きも出てくるため、緊急事態宣言が解除されれば、景気回復傾向になっていく。	
○	理容室（経営者）	・例年3月になると卒業や就職で客の動きが良くなるが、このところ新型コロナウイルスの影響で来店間隔が延びているため、3月に期待したいが現実には厳しいと予想している。	
□	商店街（代表者）	・このまま緊急事態宣言を継続するか、又は、ワクチン接種により新型コロナウイルス感染者数が減少すれば、現状より良くなると考えられるが、先行き不透明なため今後注視したい。	

<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・緊急事態宣言発出前は、新型コロナウイルスの状況に慣れたことで緩みが出て、人の動きもあったが、再度の感染拡大により警戒心も強くなり、今後の状態は変わらないと予想される。しかし、新型コロナウイルスの研究やワクチン開発、接種次第では、変化が出てくとも考えられる。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・現在、2月7日が期限の飲食店の自粛であるが、それ以降どうなるのか予測がつかない。加えて、ワクチン接種の効果も不透明である。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス収束の見通しが立たない限り、好転する材料がない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔青果〕（店長）	・当県では感染者数が多かったが、どうにか落ち着き始めてはいるものの、緊急事態宣言や外出自粛が解除されないため、同じ状態か、若しくは、一層厳しくなる可能性がある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス次第にはなるが、若干感染者数も減少しており、ワクチン接種もできる2～3か月先には心理的に和らぎ、今よりも良くなってくると考えている。新入学のマーケットは大きいですが、人の動きは期待できない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか予測できず、来客数や売上共に今後どれだけ回復するか懸念される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営企画担当）	・前年末までは、売上や来客数共に前年水準に回復しつつあったが、2度目の緊急事態宣言発出以降、来客数は再び減少傾向となり、厳しい商況になっている。緊急事態宣言の延長有無も不透明で、今後も厳しい傾向が継続すると見込んでいる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（業務担当）	・報道全体が新型コロナウイルスの話題であり、特に高齢者の不要不急の外出や買物は、警戒心から今後も慎重になることが予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の稼働次第で変動すると推測されるが、現時点ではまだ不透明で、2～3か月先も現状が継続すると予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・2～3か月先までに新型コロナウイルス禍が収束するとは考えられず、スーパーマーケットでの買物は、新しい生活様式で続くと考えられる。今後、ワクチン普及や感染者減少に向かえば、これまで以上に価格競争が激化し、前年比マイナスの厳しい状況になると懸念される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス禍対策の効果をはっきりと表れない限り、景気が良くなるという要素は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（統括者）	・まだまだ、新型コロナウイルス禍が続いており、巣籠り需要は継続すると予想されるため、良いものを安心価格で提供し、さらに、こだわり商品への提供を含め魅力ある商品や売場展開にて、新しい客の取り込みを継続しながら、何とか維持できると考えている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスにより、先行き不透明で先が読めず、不安である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・来客数や客の声を聞いても、新型コロナウイルスが終息しない限り、悪化が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス収束以外には、好条件になるような環境変化の要素はなく、来客数は現状維持の見込みである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・3か月後には、一般への新型コロナウイルスワクチン接種がようやく始まる見込みであるが、状況の改善には至らない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・外出自粛が影響し、新しい衣料品を購入することも減少するため、客の動きが悪い状態が続く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスが終息していけば、何とか今の状況が維持されると考えられるが、拡大した場合は、更に悪くなる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・3か月前は、新型コロナウイルスに慣れ、行動が緩んできた状況であったため、客の回遊もあり、イベントを組んだりして数字をある程度取れていた。しかし、1月は医療の逼迫が現実のものとなり、人の動きがなく、そのことが堅調に数字に表れている非常に深刻な月で、先行きが予測できない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着かない限り、同様の状況が発生することには変わりはなく、一旦落ち着いたとしても、今月のようなリスクは常に隣り合わせになってしまう。

□	家電量販店（店員）	・12月はボーナスが低くなり、売上が悪くなると予想していたが、現状では数字をみる限り、前年度より良くなっている状態が継続している。新型コロナウイルスが終息しても、このまま続くと考えている。
□	乗用車販売店（従業員）	・今後は、永続的に景気は上がらず、徐々に利益幅が上がっていくと考えている。
□	乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況と半導体製造や供給の状態が懸念材料であるが、現状の来客数から推測すると車両の売上は堅調に推移する。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格は先行き不透明な状況であるが、やや上げを予想している。客は遠出を自粛し、近場で家族と余暇を過ごしたいとの意向がうかがえる。
□	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・緊急事態宣言解除及びG o T oキャンペーン再開がなければ、回復は厳しい。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染が収束しなければ計画が立てられず、ワクチンに期待しているが、先行きは不安でしかない。
□	一般レストラン（スタッフ）	・政策全てが悪循環で、繁華街に人が集まらない。
□	都市型ホテル（販売担当）	・緊急事態宣言の影響により、ビジネスや旅行等がどのように変化していくのか先行きが分からず、予測が立てられない状況である。
□	タクシー運転手	・緊急事態宣言が長引く可能性もあり、タクシー業界も劇的悪化が懸念される。
□	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの状況が不透明なため、対策関連業務の引き合いがしばらく続きそうではあるが、通常の引き合いの出し渋りとのバランスを見ても、大きく上振れする見込みは低い。
□	通信会社（業務担当）	・前回の緊急事態宣言のときと比べると、取引先が止まってしまうような状況にはない。
□	通信会社（企画担当）	・期末に掛けて、現状同様の販売量が見込める。
□	観光名所（従業員）	・一般向けに、ワクチン接種が広がるまで好転は望めない。
□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスで大変な状況になっているが、給付金がなくつらい状況が続いている。
□	美容室（店長）	・卒業、入学の着物の着付けが減少している。しばらくは、この状況が継続される。
□	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・第3波の終息は年度内は見込めず、サービスキャンセルの影響は継続する。
□	設計事務所（所長）	・今月の仕事の結果は2～3か月後に出るため、良くない状況が継続する。
□	住宅販売会社（従業員）	・展示場等の来場はやや減少気味であるが、Webの問合せが増加しており、住宅購入層から一定数の動きは見受けられる。
▲	一般小売店〔精肉〕（店員）	・売上の半分以上を占める飲食店向けの卸売りが、緊急事態宣言の影響で大きな打撃を受けており、回復する見込みが立たない。
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・これから数か月の売上は期待できない。緊急事態宣言発出中で、売上が上がる要素がなく、事務所用のお茶の注文もほとんどない状態である。飲食店は、時短営業で支援金があるが、飲食店だけが影響を受けている状態ではない。
▲	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないため、回復は見込めない。
▲	百貨店（企画担当）	・緊急事態宣言が発出され、移動制限もあることから、イベントや催事を延期若しくは中止する予定である。高齢者の来店が減少しており、今後も回復は見込めない。

▲	百貨店（営業担当）	・友の会の新年度募集を開始し、春の卒業や入学シーズンを控え、学生服採寸やフレッシュャーズ需要での対象客の来店は期待しているが、不要不急の外出自粛や感染防止対策で来店増加は難しい。また、購買客の単価は維持しているものの、3密防止策を行っている会場への来店が減少しているため、季節催事のインターネットや通販受注へ移行拡大する対策を行っている。しかし、慎重な行動姿勢や生活防衛意識は依然継続しており、帰省や県外客との接触警戒が更に強まり、3世代での来店は減少、外出自粛の意識が強く回復感が弱まっている。
▲	スーパー（経営者）	・過剰な新型コロナウイルス関係の批判報道による萎縮経済が起こっている。
▲	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルス禍が収束すれば、完全に以前のようには戻らないかもしれないが、今よりは人の移動や外食等が増え、食品スーパー業界では、また前年割れの時代に突入していく。
▲	コンビニ（経営者）	・3か月後も来客数増加の見込みはない。客が安心して購入できる状況でなければ、改善の見込みはないと感じている。ほとんどの客は、マスク着用で来店しているが、当店の対策でも万全を期するために、それなりの経費が必要になっており、厳しい状態になっている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・通常、年度末に向け商談数は増加するが、展示会等のイベントができないため、販売促進が難しくなっている。
▲	住関連専門店（経営者）	・緊急事態宣言後も新型コロナウイルス感染者の減少がみられず、2～3か月でワクチンが国民に行き渡るとは考えにくく、外出自粛等で財布のひもは固くなると考えられる。
▲	住関連専門店（従業員）	・本来であれば秋冬物のクリアランスをする季節なのだが、集客が見込めない。大きな外因として緊急事態宣言の延長予定があり、かなり苦しい。
▲	その他専門店 [コーヒー豆]（経営者）	・2～3月に気温が低くなれば、客の外出も若干減少するため、来客数はやや少なくなるが、巣籠り需要としてコーヒーの消費はあり、逆に客単価は上昇する。気候に左右されることが非常に大きい。
▲	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（支配人）	・主要都市で緊急事態宣言発出、また、当県でも飲食店の時短営業要請に伴い、県民にも不安が広がっており、先行きは明るくない。世界的にも新型コロナウイルスの報道が多いことから、経営が厳しくなっている企業は多い。最も貧窮しているところに金が回るような支援策に期待したい。
▲	タクシー運転手	・この状態が継続すると、生活や仕事で先がみえず、今後が懸念される。
▲	ゴルフ場（従業員）	・緊急事態宣言やGo To Travelキャンペーンの停止の影響で、やや悪くなる。
▲	ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルス禍での緊急事態宣言発出があり、期限が決められてはいるが、その後が不透明であるため、すぐに入出が多くなるとは考えにくい。
▲	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・特に新型コロナウイルスの影響で物流が停滞し、客先からの受注が減少しているため、2～3か月後の仕事量の不足が予想され、直接的に当社へも影響があると考えられる。
▲	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が、長引きそうである。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスがいつ収束するか分からず、現在トンネルのなかに入っている状態である。先行き不透明のため、不安で一杯の日々を送っている。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染リスクが一段と大きくなっており、死亡率も上がっているため、不要不急の外出は控えているのが現状で、この状態がしばらく続くと予想される。
×	商店街（代表者）	・今後の見通しが立てられず、悪くなる一方だと感じている。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが終息しない限りは、景気は悪くなる一方である。商業者への公的支援を望んでいる。
×	一般小売店 [食料雑貨]（店員）	・新型コロナウイルス禍を契機として廃業する飲食店が多数あり、客の減少が避けられず、売上が落ち込む要因となる。
×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの鎮静化ができず、医療崩壊や壊滅により客足が動かない状態になる。
×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス収束の兆しがいまだみえず、来街者がますます減少していくことが危惧される。

	×	乗用車販売店（代表）	・緊急事態宣言等の影響で、経済的にはかなりの影響が出てくる。
	×	高級レストラン（経営者）	・自粛になり、内食に慣れてしまっているため、外食をすることがなくなり、このままでは元に戻るまでに1年以上掛かると考えられるため、店を保っているかどうか危惧している。
	×	高級レストラン（経営者）	・お弁当等の取組でWebにテイクアウトを載せているが、通常の客の動きは全くない。このままでは、経営が成り立たなくなるため、少しでも知らせて来店していただけるように、努力をしていきたい。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が全くみえない現状では、景気が回復する気配を感じない。現在苦境に立たされている飲食業や旅行業以外の業種にも倒産や解雇等が広がっており、日用品以外の消費が、大きく落ち込むことが予想される。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、賃金やボーナスカット等で収入の減少が現実味を帯びてきている。そうなれば、家を建てる資金の工面に支障が出るため、低迷するのではないかと危惧している。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、営業ではモデルルームは閉めて予約制で対応している。物件販売の出足は悪いと予想をしていたが、心配とは裏腹に販売も順調に進んでいる。
企業 動向 関連 (九州)	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・今後も好調な受注が見込める。
	◎	経営コンサルタント（代表取締役）	・1月は最悪な状態である。2～3か月後もこの状態が続く様では、経済的にも追い詰められるのではないかと危惧している。ワクチン接種が可能になり、緊急事態宣言が解除になり、プラスになる状況がない限り、経済が厳しくなり、かなり難しい局面になっていくと予想される。
	○	農林水産業（経営者）	・2月も厳しい状態であるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が2月末から始まるため、若干回復してくると予想される。また、3月は、移動や行楽シーズンであるが、今年は例年どおりの期待ができないが、4月以降には変化が出てくると思われる。懸念材料である鳥インフルエンザも春先には落ち着いてくると考えられるが、一刻も早く、新型コロナウイルスや鳥インフルエンザの不安がない状況になることを望んでいる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合い案件が増えている。ある程度の仕事量が増加する予定である。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・新型コロナウイルスの影響を直接受けないセクターが、底堅い動きをしている。
	○	電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連の生産が、増加傾向であるとの市場予想に期待している。
	○	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・半導体向け製品は増産方向にあるため、新型コロナウイルスが多少落ち着けば、回復してくると予測している。
	○	輸送業（総務担当）	・ワクチンの接種が、2月下旬より開始されることが一縷の希望となっている。もともと1～2月は貨物の動きが少ないため比較がしにくいだが、自粛からの解放が反動となり、例年よりも出荷量が増える可能性がある。
	○	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数が増加している。
	□	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・自治体向け予算消化に向けた駆け込み受注が見込まれるが、1月の受注量も多く、恐らく同等になると予想される。
	□	化学工業（総務担当）	・農薬需要は低調であるが、自動車向け材料は持ち直してきたため、横ばいが継続する。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今月は年末より良くなっているが、今後の状態は、新型コロナウイルスの影響があるため、今以上に良くなることは難しいと考えている。産地全体は、インターネットと一部企業の分を生産している店舗では、ある程度景気が良くなっているが、それ以外の店舗では、苦しい状態である。
	□	金属製品製造業（事業統括）	・引き合い数は増加しているものの、客の受注に結び付くために提供できる新たな付加価値をいまだ見だせていない。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・恐らく不採算部門の切捨てが行われ、しばらく今の状態が続くと考えられ、懸念している。	
□	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・客より3か月内示数も高い生産計画で展開されており、この先も、今月と同等の高い生産台数で推移する。	

	□	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスやコンテナ不足の影響が収まらないと回復の余地はない。
	□	通信業（職員）	・受注済みの案件対応で、年度末まで引き続き景気が良い状態が続く見込みである。
	□	通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、将来の見通しが不透明なため、今後が懸念される。
	□	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス禍の収束がみえず、今後予定されているワクチン接種を不安視する声は少なくない。依然として、先行きは不透明なままで、国や県の強いリーダーシップが求められている。
	□	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が、まだまだ減少傾向が見受けられない。緊急事態宣言解除の時期によるが、経済の動きが停滞しているため、2～3か月先も状況は変わらない。
	□	金融業（調査担当）	・緊急事態宣言が再度発出されたが、主要都市部でも外出抑制が十分にできていないなど、前年4月の発出時に比べると効果は限定的で、新型コロナウイルスの終息の見通しは依然不透明である。今後、ワクチンの普及いかんで状況が変わる可能性もあるが、現状の景気では、引き続き冷え込むことが予想される。
	□	不動産業（従業員）	・賃貸オフィスの入居状況が、横ばいで推移する。
	□	経営コンサルタント（社員）	・これから決算や申告等が3月まで続き、デスクワーク中心になるため、新しい動きはない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言発出により、一層の消費の落ち込みが予測される。また、影響の長期化も予想しており厳しい状況になる。
	▲	繊維工業（営業担当）	・新型コロナウイルスも変異種が確認され、しばらく収束する可能性がなく、ワクチンだけが頼りである。今後の発注が増加しないことから、休業しなければならず、また、従業員が新型コロナウイルスに感染した場合も、2週間休業することになり、先行き不安である。
	▲	家具製造業（従業員）	・2度目となる緊急事態宣言が発出されたことで、更に追い討ちを掛ける結果となっている。巣籠り需要がまだ当分期待できる住宅産業関連とは異なり、コンラクト市場は、景気回復における材料が全く見当たらないのが実状である。
	▲	建設業（従業員）	・今後の予定配置員の空きがないため、入札等に参加しづらい状況にあり、受注が小工事に限定されるため、今後の景気は悪くなる。
	▲	建設業（社員）	・平準化が実施されれば、例年のような暇な時期はないと予想されるが、年度末に集中するようでは、平準化とはいえない。早期の発注を希望している。
	▲	金融業（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が再び大幅に増加し、Go To Travelキャンペーンが全国一斉に停止されたことなどから、飲食店やホテル・旅館等では、先行きを不安視する企業が増加している。
	▲	広告代理店（役員）	・新型コロナウイルス第3波の影響で、直近2か月の売上予測が下方修正されている。
	▲	経営コンサルタント（社員）	・緊急事態宣言解除後は、徐々に売上が回復する。
	▲	その他サービス業 [物リース]（職員）	・緊急事態宣言の影響もあり、営業活動が鈍化しており、現状よりも景気が悪くなる要因が多くなっている。
	×	新聞社 [広告]（担当者）	・東京や大阪は回復傾向にあるが、緊急事態宣言で悪化するのではないかと危惧している。
	×	その他サービス業 [コンサルタント]（代表取締役）	・当県の新型コロナウイルスの緊急事態宣言の延長が予測され、県を越えての営業ができない状況になっていることから、指名等に入れず、受注が見込めない状態である。このため、売上が減少することが予測され、深刻である。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・前回の緊急事態宣言では、解除以降に求人数が増加したこともあり、今回も解除後には、控えていた求人が動き出すと考えている。
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルス禍の収束のめどは立たないが、ワクチン接種が始まるため、その後の感染者数を注視したい。感染者数が減少傾向になれば、明るい兆しが見え、好転していくと期待している。

○	新聞社 [求人広告] (社員)	・緊急事態宣言の効果が出て、気温が上昇し、ワクチンの接種が一部でも始まれば、前年の10～11月のように、ある程度の広告量が回復すると考えられる。しかし、1年前の広告の量には、まだまだ遠く及ばず、経済全体の回復の見通しも不透明である。
○	新聞社 [求人広告] (担当者)	・緊急事態宣言も解除の方向に向かい、卒業や入学、移動シーズンを迎え、必然的に人の動きが生じる。また、駅ビルオープンという地域には明るいニュースもあり、上向くと予想される。
□	人材派遣会社 (社員)	・第3波の落ち着き具合による。
□	民間職業紹介機関 (職員)	・ワクチン接種が成功し新型コロナウイルスが終息しない限り、企業の経済活動は進まないため、採用環境も好転する要素がなく、2～3か月後は、まだ同じ状態である。
□	学校 [大学] (就職支援業務)	・緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いている。ほとんどの企業が、採用者数を減少させていることはないが、新卒採用者数の調整は、更に進んでいく。
▲	人材派遣会社 (社員)	・どの業界も新型コロナウイルスの影響で、先がみえない状況が長く継続しており、悪くなっていくと予想される。業界的にも一般派遣での見込みが立たず、新型コロナウイルス関連で発生する業務委託等に着手していく傾向である。
▲	人材派遣会社 (社員)	・接客業を中心に、契約解除が出ており、また、出勤日数の見直し等契約内容を変更したいという企業もある。今後も新型コロナウイルス感染者数やクラスター発生に伴い、国や県の規制による影響は当分続く。
▲	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が続いているが、ワクチン接種で感染が減少すれば、徐々に景気も回復すると予想している。しかし、当面ホテル等の飲食関係者や旅行者には絶望的な声もあり、新年度の企業の動きが鈍れば回復も遅れてくる。
▲	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルス感染拡大が続いており、経済の好転が不透明である。そのため、これまで雇用を維持している事業所等かなり厳しい状況で、今後離職者が増えることも考えられる。
▲	職業安定所 (職員)	・大型商業施設のオープン等明るい面もあるが、小売や宿泊業からは事業の継続が厳しいという声も聞かれている。
×	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスが再流行しており、全国対象ではないが、緊急事態宣言が発出したことで、人の外出が抑制され、物や金の動きが悪くなる状況になる。